

つかの作物を組み合わせておこなう経営)をとってきました。しかし、農産物の生産調整^{ちようせい}や価格の伸びなやみ、農産物輸入^{ゆにゆう}の自由化^{じゆうか}などの問題もあり、農業経営はなかなか容易^{ようい}ではありません。

これからは、どのような作物をどれだけ作ったらよいかを、わたしたちの村の土地や気候などの条件を十分に考えて、現在栽培し、また飼われているもの、新しく普及して伸ばしていきたいものをうまく組み合わせ、限られた土地をうまく利用し、地域の農業者がいっしょになって作業を進めて、高い所得が得られるようにくふうしてやっていく必要があります。

(2) これからの農業の振興^{しんこう}計画

葛尾村では、魅力^{みりよく}と特色^{とくしよく}に富^とんだ村づくりをめざして、昭和61年度から昭和70年度までの10年間を期間とした総合振興計画を立てて、現在^{じつげん}計画実現のため努力を続けています。その中での農業振興計画(農業をさかんにするための計画)の主なものは、次のとおりです。

- ① 農産物を多く生産できるよう耕地を整備する。
- ② 営農意欲^{えいのういよく}の高い農家を中心に、地域ぐるみの農業を進める体制^{たいせい}を整備する。